

新治地区自治会長連合会講演会 実施結果

日時 平成 29 年 2 月 10 日（金）18 時～

場所 本納公民館

参加者 31 名

【当日の内容】

1. 説明「地域まちづくり協議会について」（茂原市役所生活課）

2. 講演「まちづくり協議会の事例と意義」

（講師：市民社会パートナーズ代表 庄嶋孝広氏）

3. ミニワークショップ

①説明・講演に対する質問

②地域まちづくり協議会で取り組めそうなこと

【ミニワークショップの主な内容】※順不同

①説明・講演に対する質問

- ・地域づくり、まちづくりに取り組む人が楽しくやる方法（具体的に）またはしてはいけないこと
- ・具体的にどうということから始めればよいか
- ・人を集めるためにどのような楽しいことをやればよいか
- ・構成員の人数制限（どれくらいの人員がよいか）
- ・組織の年齢構成と性別構成は関係するか
- ・助成事業は何年くらい継続するか
- ・新治地区の話し合いなのにどうして本納公民館で開催されるのか（住民の集まる場所がない）
- ・新治小学校を存続させるためにはどうしたら良いのか（地域住民は小学校を残すように考えているが、PTA は人数が少なく負担が多いので、合併・統合の声があった）

②地域まちづくり協議会で取り組めそうなこと

- ・新治地区でお祭りをやる
- ・みんなでまず一杯をやる。大騒ぎする→話が発展する。横のつながり
- ・個人の趣味を生かして、同じ趣味の人が集まるイベントを行う（将棋教室等）
- ・映画関係者がいるので、新治を舞台として撮影する
- ・登下校の際の見守り

- ・新治地区でのまとまりを各団体の協力で（例：盆おどり等）
- ・里山への取り組み（高齢者から教わる）
- ・各地区間の交流を深める
- ・住みたい村づくりを考える
- ・構成組織の年間事業計画を共存できるので、メイン事業を協議会で取り組む
- ・適正な各団体の役員を選出できる（人材）
- ・新治小学校の閉校に関して、まちづくり協議会を立ち上げ、統合しなくて済むように協議会をつくり、新治地区に住みたいと思う人を増やすために活動する
- ・イベントを企画する（今やっていることを協議会で 例：餅つき、健康教室）
- ・集まる場をつくる

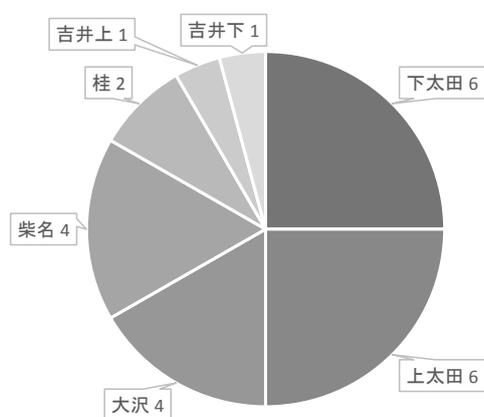
4. ミニワークショップの様子

近隣の席の方とワークショップ形式で話し合いました。



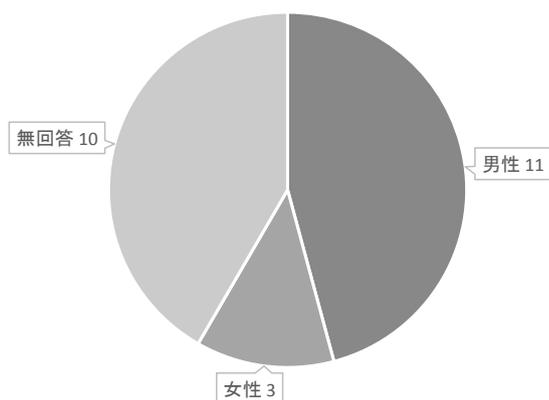
5. 参加者アンケート結果（回答数 24 件）

(1) お住まいの地域



新治地区の各自治会からお越しいただきました。

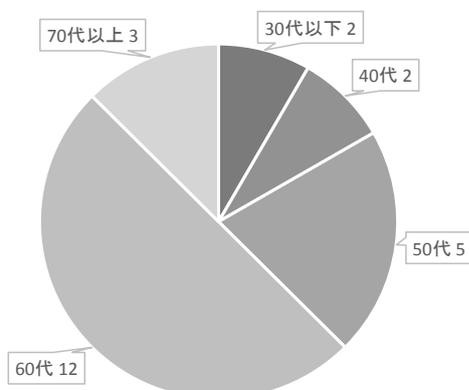
(2) 性別



無回答の方が多い結果となりました。

これは、性別の記載欄が年齢と混在していたためと推測されます。

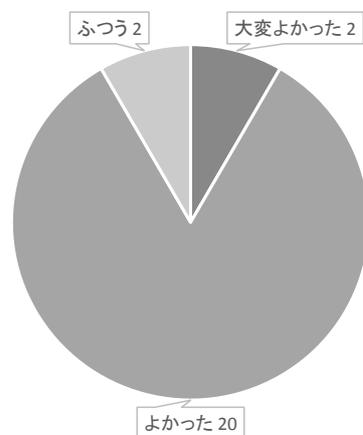
(3) 年齢



60代が最も多く、半数を占めました。

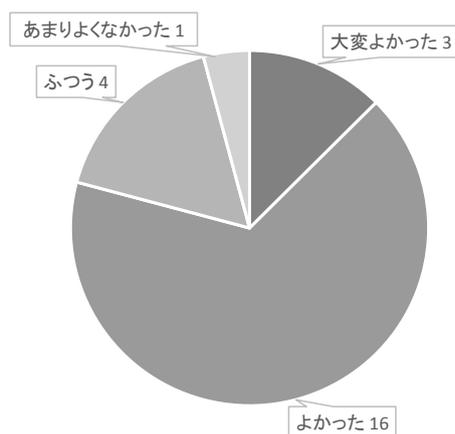
幅広い年齢層にご参加いただきました。

(4) 生活課からの説明



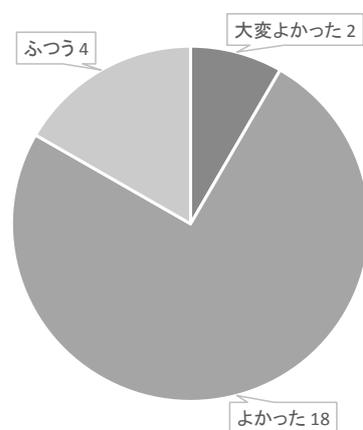
「大変よかった」、
「よかった」と回答い
ただいた方がおよそ
9割となりました。

(5) 講師の講演



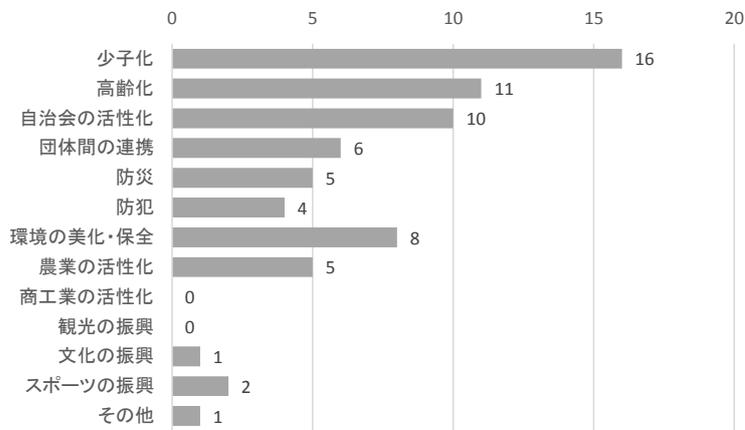
「大変よかった」、
「よかった」と回答い
ただいた方がおよそ
8割となりました。

(6) 本日の講演会について



「大変よかった」、
「よかった」と回答い
ただいた方がおよそ
8割となり、おおむね
好評を得ることがで
きました。

(7) 今後、開催を希望するテーマについて



「少子化」が最も多く、次いで「高齢化」、「自治会の活性化」、「環境の美化・保全」という結果になりました。